

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・自らの学びを振り返り、粘り強く取り組むことができるようになった。
- ・音楽を形づくっている要素を考えながら、思考する姿が見られた。
- ・発表の場を設けたことで、学習への意欲や技能が高まった。

(2) 課題

- ・音楽表現をするための知識や技能の定着が図れていない。
- ・深い学びへと向かうための、思考力が不十分である。
- ・主体的に取り組む姿で態度では、自己を振り返り、次につなげていく力が必要である。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1)低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍵盤ハーモニカは、ICT(動画)を積極的に活用して、予習復習できるようにする。 ・ 音楽の要素について、分かりやすく提示し、体を動かしながら実感を伴えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT(ワークシート)を活用して、自分の思いや意図を明確化できるようにする。 ・ 児童の思いや意図を言語化できるよう、価値付けしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘り強く取り組んでいる姿を認めたり、全体に共有したりする。 ・ 教師・児童同士が交流し、楽しく学びにつながるような活動を取り入れる。

(2)中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の場を活用したり、友達と教え合う活動を行ったりして、さらなる技能の向上を図る。 ・ スモールステップですすめられるよう、教材や指導法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽表現を考えて、思いや意図をもつために、言語活動を充実させる。 ・ 思考が広がるよう、友達の考えを共有したり、伝え合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで音楽に関われるよう、教材を工夫したり、発表の場を活用したりする。 ・ 振り返りから、ミニ探究へとつなげられるよう授業デザインする。

(3)高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習—授業—復習の学習サイクルを習慣付け、学びの定着を図る。 ・ 実感を伴った指導を行うことで、技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習得と探究を意識した学習計画を立てる。 ・ ペアやグループで考える活動を充実させて、思考が深まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアやグループ、クラス全体など、学び合う場を意図的に設定することで、協働して音楽活動できるようにする。

